

## 事務事業評価シート(概要説明書)

事業名	包括連携大学交流事業 (シニアラーニングアップ事業)	課室名	企画調整課	会計区分	一般会計
-----	-------------------------------	-----	-------	------	------

### 【事業の概要】

事業期間	開始年度	平成24年度	～	終了年度	
事業(補助)対象	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(具体的な事業(補助)対象者) 泉大津市に住民票を置く、60歳以上の市民。		
法令根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 市が自ら必要性を判断して実施 <input type="checkbox"/> 法令または大阪府条例・規則に実施義務規定有り		(具体的な法令、条例名等) 泉大津市シニアラーニングアップ事業補助金 交付要綱		
事業の執行方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民との協働 <input type="checkbox"/> その他		(委託先等)		
(事業背景・目的)					
シニア層のセカンドステージにおける新たな知識の享受と、これまで自らの人生で経験してきた豊富な知識の整理や社会との関わりの場を提供することを目的とする。					
(事業の内容)					
本市と包括連携協定を結んでいるプール学院大学(平成22年11月締結)、羽衣国際大学(平成23年6月締結)が実施する、社会人講座や授業公開講座など(メニューは別紙参照)を受講した60歳以上の市民に対し、1人1講座を上限に、受講料やテキスト代を予算の範囲内で補助している。(シニアラーニングアップ事業)					
【実績(平成24年度)】					
羽衣国際大学 社会人講座 10名 150,700円					
プール学院大学 聴講生 1名 0円(*両大学に重複している)					

### 【事業費】

項目/年度		H22(決算額)	H23(決算額)	H24(決算見込額)	H25(予算額)	備考	
事業費(千円)	事業費総額 ①			151	310		
	財源内訳(千円)	国庫支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特定財源					
		受益者負担					
	一般財源			151	310		
人件費	正職員の年間延べ人数			0.3	0.3		
	嘱託・臨時職員の年間延べ人数						
	正職員年間延べ人数×単価			1,550	1,860		
	嘱託・臨時職員年間延べ人数×単価			0	0		
	人件費合計 ②			1,550	1,860		
総事業費(千円) ①+②				1,701	2,170		
平成24年度事業費内訳(単位:千円)		費目			金額		
		助成金			151		

**【事業の必要性】**

事業の必要性	新たな縁の構築や生きがいの創出など、シニア層が豊かな高齢期を迎える準備のため、長寿社会を踏まえた生涯学習施策の推進を図る必要がある。
--------	--

**【事業実績・成果】**

事業実績・成果指標	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度実績値	25年度目標値
受講者数(シニアラーニングアップ)	人	-	-	10	25
(成果指標を数値化できない理由)					
(具体的な事業の成果)					
若者などとともに各大学のキャンパスで学ぶことにより、参加者の生きがいや生活の励みにつながり、さらなる学習意欲の向上につながっているところである。					

**【外部との連携・活用の可能性】**

外部との連携・活用の可能性	連携・活用先、連携・活用部分、不可能な理由を具体的に
<input type="radio"/> 既に事業全体・一部で連携・活用済	包括連携提携大学(プール学院大学、羽衣国際大学)
<input type="radio"/> 今後事業の全部・一部で連携・活用可能	桃山学院大学
<input type="radio"/> 連携・活用不可能	

**【庁内事業との統合、連携の可能性】**

類似事業の有無	<input type="radio"/> 類似事業あり	→	類似事務事業名	教育委員会等の実施する事業
	<input type="radio"/> 類似事業なし		統合・連携の可能性	<input type="radio"/> 可能性あり <input type="radio"/> 可能性なし

**【これまで実施した事務の見直し点】**

これまでの改善点	23年度は、各大学より派遣された講師陣により、本市に関わりのあることを題材にした市民公開講座を実施したが、新たな縁の構築や生きがいの創出を図るため、各包括連携大学が提供している社会人講座等の多種、多様な講座から受講できるように、平成24年度より、社会人講座等への受講料等を補助する仕組みに変更し、生涯学習機会の増加を図ったところ。(シニア・ラーニングアップ事業)
----------	---

**【課題(問題点)】**

課題(問題点)	参加者に対しての受講後のアンケート調査等を行っておらず、本事業の検証が行われていない。受講者をシニア層に限定した受講区分の見直しや、受講講座等増加など、受講機会の多様化を図る必要がある。
---------	---

**【今後の方向性】**

担当課の評価	B 見直し	(左記評価の理由) 事業の効果を高める為にも、しっかりとした検証を行い、本事業の精査を行う必要がある。実績、費用対効果を勘案し、見直しを図っていく。
改革・改善策等の具体的内容	25年度に、新たに、総合大学である桃山学院大学と包括連携協定を締結したことで、受講機会の増加が図れる。また、受講修了者に対してのアンケート調査を実施し、本事業に対してのニーズの把握に努め、場合によっては、60歳以上に限定した受講制限を見直すところ。	

**【参考】**

比較参考値 (類団など他自治体での状況)	
-------------------------	--